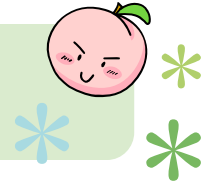


たなばた はなし 七夕のお話（小）



みなさん、こんにちは。今日は、七夕のお話です。

7月7日の夜は、天の川をはさんでいつもはなればなれの「ひこ星」と「おり姫」が年に1度だけ会うことができるという日ですね。

七夕には、短冊に願い事を書いて笹に飾ります。これは、織物の上手なおり姫のように「習い事が上達しますように」とお願い事をしたのが始まりです。笹の葉に飾ると、ひこ星とおり姫の力で願いがかない、みなさんを悪いものから守ってくれると信じられてきました。

今日は、七夕をイメージした「七夕じる」と「七夕ゼリー」です。

「七夕じる」には、月のよううずら卵や、天の川をイメージしたさぼてんきしめん、星の形をしているオクラやかまぼこを入れました。その他にも、夏野菜のとうがんが入っています。とうがんには、夏バテを防ぐビタミンCが多く含まれているので、夏に食べるにはぴったりの野菜です。

七夕にひこ星とおり姫、そしてみなさんの願いがかないますように。